

南あわじ市市民まつり

南あわじ食と文化の市民まつり

前夜祭

日程 10月20日(土)

老人クラブや公募参加による市民カラオケ発表会や演歌歌手によるアトラクションなどを行います。

- ◆時間 午後1時～4時30分
- ◆場所 緑市民センター3階大ホール



スポーツフェア minamiawaji

南あわじ食と文化の市民まつり

日程 10月21日(日)

小・中学生による吹奏楽演奏、郷土芸能、和太鼓演奏をはじめ、食の市や振る舞いなどを開催します。

- ◆時間 午前10時～午後3時
- ◆場所 淡路ふれあい公園・サンライズ淡路

南あわじ食と文化の市民まつり実行委員会事務局
(市長公室内)TEL:43-5002



日程 10月7日(日)

6歳～79歳の人を対象とした体力測定会を行います。

- ◆時間 午前9時30分～正午
※最終受付午前11時30分
- ◆場所 三原健康広場
- ◆準備物 体育館シューズ、運動靴、タオルなど

※当日参加もできます。ぜひお越しください
※詳しくは市ホームページをご確認ください

市体育協会(三原健康広場内)
TEL:42-5630

阿万の風流大踊小踊

『続三原郡史』拾い読み

まちの民俗芸能

7

阿万亀岡八幡宮の春の祭礼はだんじり、秋の祭礼は流鏝馬を行っていたが、太平洋戦争以来途絶えていた大踊小踊を昭和二十九年から復活させ、九月十五日に実施、昭和三十七年、「阿万風流踊保存会」を結成し、積極的に保存伝承活動を続けている。由来や踊の様式は、『三原郡史』に詳述されているので参照されたい。ここでは、昭和五十年以降の発表、保存活動について述べる。

保存会の練習は、年三回、一、五、九月に行う(昔は四回)。大踊は、昔からの伝統を重んじ、生え抜きの一族一統で講社会員を構成し、小踊は、講社に新規参入が許される。練習には、大踊は室町時代から米二合の握り飯、小踊は江戸時代から豆腐大の押し鮭を供す

る。口開けの菜は、酢漬、煮しめ、煮豆の三品を五、六軒の座回り(当番)で用意していた(約五千円ずつの負担)。現在座回りは四人制となり、練習日時を触れて回り、会員から会費(三百円)を徴収する。踊手は男子のみで、女子は、子供が踊るのであるが、ここでも少子化の影響を受けている。



▲阿万亀岡八幡宮で行われる阿万風流大踊

南あわじ市の軌跡を手に
とって感じてください

編集事務局

市長公室 ☎ 43・5002

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>
E-mail: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp

※文化 伝統芸能 県指定民俗芸能と淡路だんじり唄・和太鼓から抜粋
※現状に応じ、一部加筆修正等行っています